

本のむし

編集 杉本瑛・図書委員会 広報班

配布版

2016年12月20日発行



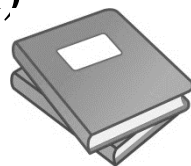
こんにちは図書委員長の杉本瑛です。
図書委員会は、今回から定期的に「配布版 本のむし」として本誌を発刊することになりました。
内容としては、本の紹介や図書室の情報、先生のおすすめ本インタビューなどを予定しています。
これから頑張って続けていくので、よろしくお願いします！

(イラスト 梨本真菜)

冬休みの貸出について

12/14(水)~12/22(木)

本を一人6冊、1/10(火)まで借りることができます！



『本の福袋企画(仮)』

年明けの図書室では本の福袋を無料で用意しています！(レンタルですよ笑)福袋の中にはテーマごとに三冊の本が入っています。

新年の運試しに、もしくは新しいテーマを開拓してみたいかでしょうか？

本の紹介

「帝王、死すべし」

著者 折原一 913-オ(文庫)

中学三年生の息子、輝久の部屋にはノートの表紙に『てるくはのる』と書かれた恐ろしい内容の日記が…とても面白いミステリー小説です！実際に自分で読んでみてとても鳥肌が立った作品です。

予想だに出来ないラストが待っている！



★先生のおすすめ本★

先生方におすすめの本を紹介してもらいました！今回はダイジェスト版ですが、3月ごろに拡大版を掲示するので楽しみに…♪
(インタビュー担当 峯尾・中原・西久保)

圓谷 真人 先生 H1年 D組 理科

オススメ本は『谷川俊太郎詩集』(著 谷川俊太郎)、『にんげんだもの』(著 相田みつを)、『きっと大丈夫だと思える スヌーピー』(著 シュルツ)の三冊です。

すべて人生や生活について深い事柄が書かれた詩集です。谷川さんの「二十億光年の孤独」は、私は物理の先生なので、そんな風に考えることもできるんだなあ、と興味深く思いました。『にんげんだもの』は、自分は自分で良いんだ、と思わせてくれます。スヌーピーの本は皮肉たっぷりに人生を語る、ウィットに富んだ一冊です。



植田 卓真 先生 H2年 D組 数学

『手紙屋 蛍雪編』(著 喜多川泰)と『コンビニ人間』(著 村田沙耶香)がおすすめで、最近では『高校入試』(著 湊かなえ)を読みました。

『手紙屋』は、なぜ勉強するのか？ということや大学進学をする意味について、高校二年生の主人公を通して描かれています。ぜひ中高生に読んでほしい1冊です。『コンビニ人間』は、周りとは感覚が違い、唯一コンビニでなら普通でいられる主人公の話です。「普通とは何か」ということについて考えさせられます。



1月の開室予定

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
01 🍷	02 🌸	03 🍷	04 🍷	05	06	07
08	09	10 10:30~17:50	11 10:30~17:50	12 8:30~15:50	13 10:30~17:50	14 11:10~14:50
15	16 10:30~17:50	17 10:30~17:50	18 10:30~17:50	19 8:30~15:50	20 10:30~17:50	21 11:10~14:50
22	23 10:30~17:50	24 ♪合唱コン♪	25 10:30~17:50	26 8:30~15:50	27 10:30~17:50	28 11:10~14:50
29	30 10:30~17:50	31 8:30~	01 🐟	02 🌸	03 🌸	04 🌸